

# 旅立ち

社会福祉法人しらとり会  
利用者通信 (NO. 35)  
平成 30 (2018) 年 4 月 1 日発行

今月は、4 名の方からの投稿です。



落語・相の手都々逸・春の足音

○ 「黒柳徹子さんの足音です」。

(どんな音?)

「トットトットトット」。

○ 「グループから独立をした人の足音です」。

「ソロソロソロソロ・・・」。

(岡本 祐子)



○データをとらなければ何も出来ない学者。

○答えを知る為に自分でゼロから考えられないので人を研究する、楽で近道な方法ばかりを採用する学者。

○精神科医にしても大学で精神医学を学ばなければ、つまり精神医学を取れば何の財産が残るのか？

○PSWにしても自分で研究できる才能があれば、現場から研究職に上がらなくてもいい。

○専門家は専門の勉強をしているから分かるのであって、勉強しなければ患者と同じ特定の専門家の不評を受けるのだ。

○ゼロの状態の患者に考えろと専門家は言っている。

○ゼロの状態を考えてほしい。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、4月13日(金)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.、T.、Y.I.Y.Y.